

「絹谷幸二 天空美術館」にて 梅田スカイビル誕生25周年記念特別展示 「天空夢譚 -驚天動地の空中庭園-」を開催

積水ハウス株式会社が設立・運営する「絹谷幸二 天空美術館」(梅田スカイビル タワーウエスト27階)では、梅田スカイビル誕生25周年を記念して特別展示「天空夢譚(てんくうむたん) -驚天動地の空中庭園-」を、2018年6月27日(水)から12月17日(月)まで開催いたします。



「祝 飛龍遊々スカイビル」(絵画)



「祝 飛龍遊々スカイビル」(彫刻)

「空中庭園」を擁する梅田スカイビルには年間150万人の観光客が訪れ、抜群の眺望は世界中の人々を魅了してやみません。そのタワーウエスト27階に位置するのが「絹谷幸二 天空美術館」です。特別展示「天空夢譚 ～驚天動地の空中庭園～」では、今年、絹谷幸二氏が取り組んだ大作「梅田スカイビル」の絵画と彫刻両作品を初公開いたします。

美術・芸術力によって「人類を元気に！」を掲げてきた美のパワースポットが贈る天空からの夢物語。豊かな色彩と驚天動地のイメージ世界が皆様をお待ちしています。

新作紹介

「祝 飛龍遊々スカイビル」(絵画) [150号 2018年]

光彩輝く梅田スカイビルを背景に、淀川より飛翔した龍神が梅田スカイビル25周年を祝福し、祝いの玉取り龍となって舞う。龍は水に対する敬意の念から生まれた水の神であり夢や空想上の生き物。一方、今ここに在るスカイビルは世界的に名高い現実の建築物である。この龍とビルがおりなす迫力の躍動感は、「空想」と「現実」は相反する別々の概念ではなく、一つの物の部分であると説く、絹谷 幸二氏の作品テーマである維摩経(ゆいまきょう)の教え「不二法門」に通じている。

夢や空想、豊かな想像力が明日の科学や未来をつくる。両者を同時にとらえる大切さを私達に指し示してくれるのである。

「祝 飛龍遊々スカイビル」(彫刻) [H2450×W1900×D1300 2018年]

立体彫刻作品の存在感と重量感は、今にも龍神が動き出す迫力をもっている。そして梅田スカイビルの側面は全てを映し出す美しい鏡のようで、突き抜ける青空やたなびく雲を反射し、重厚な建物がまるで周りの空に溶け込み透き通って見える。天空で龍神が梅田スカイビルと楽しげに遊々とする姿は、この天空美術館が私達と夢の世界をつなぐ架け橋となっているのではないか。

絹谷 幸二氏は平面・立体・3D映像、様々な空間に身をおき芸術の可能性を常に追求し続けている。二次元の平面を三次元の立体に表現し、平面と立体を行き来して作品を制作する。

◆ 絹谷 幸二 (きぬたに こうじ) 氏

1943年 奈良県出身。東京藝術大学大学院壁画科修了後、ヴェネツィア・アカデミアに留学。アフレスコ(壁画の古典技法)を修得し独創的なスタイルを確立する。1997年「銀嶺の女神」長野冬季五輪公式ポスター原画を制作するなど、半世紀に亘って日本の現代画壇をリードし後進の育成にも尽力。現在、東京藝術大学名誉教授、日本藝術院会員。2014年文化功労者として顕彰。アフレスコの国内第一人者。



©海田悠

◆ 「絹谷幸二 天空美術館」 <http://www.kinutani-tenku.jp>

2016年12月、世界的に話題の「梅田スカイビル」内にオープンした最新型ミュージアム。世界初となる絵の中に飛び込む大迫力の3D映像体験や、アフレスコをはじめ絵画や彫刻の数々を展示し、絹谷ワールドを存分に楽しめる絹谷幸二氏初の単独美術館。54作品を公開中(2018年6月27日現在)。

遊び心満載のワークショップやアトリエスペース、快適空間のカフェなどを併設し、眺望も抜群な美術館。

【開館時間】 10:00-18:00、金曜日・土曜日・祝前日は10:00-20:00

(入館は閉館の30分前まで)

【休館日】 火曜日(ただし祝日の場合は開館し翌平日が休館)、
年末年始、展示替え期間

【入館料】 一般1000円、大学・高校・中学生600円、小学生以下無料、団体・障がい者割引あり

【所在地】 〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビル タワーウエスト27階

【お問い合わせ】 06-6440-3760(開館時間内)